

News Release

2011年11月29日

パイオニア株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小谷 進
 (コード番号 6773 東証第一部)
 問合せ先 代表取締役専務取締役 岡安 秀喜
 電 話 (044) 580-3211

2012年3月期 連結業績予想についてのお知らせ

2012年3月期(2011年4月1日～2012年3月31日)の連結業績予想について、次のとおりお知らせします。

(金額単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回(2011年11月9日)発表予想(A)	—	—	—	—
今回予想(B)	440,000	11,000	7,500	1,000
増減額(B-A)	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—
2011年5月11日発表予想(ご参考)	470,000	17,500	13,500	4,000
2011年3月期通期実績(ご参考)	457,545	15,817	12,331	10,350

現在、当社は、タイで発生した洪水への対応策として代替生産や代替部品の採用等を実施していますが、洪水による影響としましては、第3四半期を中心に、カーエレクトロニクス製品の生産減や販売減、代替生産に伴う費用や投資の発生により、下半期において、売上高で約270億円、営業利益で約100億円の減少を見込んでいます。

以上の結果、当期の連結業績予想は上記のとおりとします。

なお、以上の業績予想においては、下半期の為替レートを、1米ドル=75円、1ユーロ=105円と想定しています。

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上するユーロ、米ドル、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他の事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

以上